

# 和歌山縣報

號 外

大正二年三月十二日

## ○縣令

○和歌山縣令第十九號

和歌山縣原蠶種製造及配布規程左ノ通相定メ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年三月十二日

和歌山縣知事 川村 竹治

### 原蠶種製造及配布規程

第一條 原蠶種ハ本縣原蠶種製造所ニ於テ生産シタル種繭及本縣内蠶種製造者ヨリ購入シタル種繭ヲ以テ製造スルモノトス

購入スル種繭ハ當分春種繭ニ限ルモノトス

第二條 種繭ノ購入ヲ請ハムトスル者ハ様式第一號ニ依リ毎年四月三十日迄ニ知事ニ申請スヘシ  
第三條 前條ノ申請ヲ爲シタル者ハ種繭ノ選別ヲ終リタルトキ直ニ様式第二號ニ依リ知事ニ報告スヘシ

知事ハ種繭ヲ差出スヘキ場所及期日ヲ通知ス

第四條 種繭ハ地方種繭審査會ニ於テ審査ニ合格シタルモノヲ、内ヨリ所要ノ數量ヲ購入スルモノトス

第五條 種繭ノ購入價格及數量ハ知事之ヲ定ム

第六條 原蠶種ハ本縣内蠶種製造者及學術研究ヲ目トスル學術講習所試驗場又ハ其ノ他ノ團體ニ對シ無償ヲ以テ配布ス

第七條 原蠶種ノ配布ヲ受ケムトスル者ハ毎年四月十五日迄ニ様式第三號ニ依リ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ

第八條 左ノ場合ニ於テハ原蠶種ノ配布ヲ制限シ又ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

一 原蠶種製造額ノ請求額ニ充テサルトキ

二 配布請求額ヲ不當ト認メタルトキ

第九條 原蠶種ノ配布ヲ受ケタル者ハ既定ノ目的ニ供スルノ外他ニ轉用讓渡交換又ハ廢棄スルコトヲ得ス

第十條 原蠶種ノ配布ヲ受ケタル者ハ其ノ蠶種百蛾區分ニ對シ二千五百蛾分ニ相當スル蠶種ヲ製造スルコトヲ要ス但レ止ムヲ得サル事由ニ依リ規定ノ數量ヲ製造シ能ハサルトキハ原蠶種製造

所長ニ申出其ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 原蠶種ノ配布ヲ受ケタル者ハ蠶種製造終了後直ニ様式第四號ノ成績報告書ニ其ノ乾繭三十顆ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

第十二條 第九條第十條ニ違背シタル者ハ配布ヲ受ケタル原蠶種一蛾區分ニ對シ金五錢ノ辨償金ヲ納付セシム

第十三條 本規程ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ總テ原蠶種製造所ヲ經由スヘシ

樣式第一號

種苗購入申請書

化性	化期	名稱	原種製造者住所氏名	掃立豫定蛾數	掃立豫定蟻量	掃立豫定月日	購入申請
----	----	----	-----------	--------	--------	--------	------

右購入相成度此段申請候也

年月日

住所

氏名(名稱)印

知事宛

樣式第二號

種苗撰別報告書

化性	名稱	記號	原種製造者住所氏名	收購總樹量	撰別	收購量
----	----	----	-----------	-------	----	-----

右報告候也

年月日

住所

氏名印

知事宛

樣式第三號

原蠶種配布申請書

化 性

名 稱

請 求 蛾 數

特 別 種 類 普 通 種 類  
請求ノ原蠶種ニヨリ製造蠶額

右ハ原蠶種製造及配布規程ヲ遵守シ大正何年蠶種製造用ノ原蠶種ニ供用致度候條御配布相成度此段申請候也

年 月 日

住 所

氏 名 印

知 事 宛

樣式第四號

大正 年配布蠶種成績報告

化 性

名 稱

番 號

符 號

配布蛾數

掃立月日

掃立蟻

上簇月日

對蠶量一

蠶種製造額  
以收購量 特別蠶種 普通蠶種

備考 掃立ヨリ上簇ニ至ル迄ノ概況ヲ附記スヘシ  
右報告候也

年 月 日

住 所

知事宛

氏名印

○和歌山縣令第二十號

和歌山縣原蠶種製造所職制及處務規程左ノ通相定メ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年三月十二日

和歌山縣知事 川村竹治

和歌山縣原蠶種製造所職制及處務規程

第一條 原蠶種製造所ハ左ノ事務ヲ掌ル

一、原蠶種ノ製造及配布

二、蠶ノ種類試驗及調査

三、桑樹ニ關スル試驗及調査

四、蠶桑業ニ關スル講習講話

五、其ノ他蠶絲業ニ關スル必要ナル事項

第二條 原蠶種製造所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

農業技師

農業技手

書記

第三條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ所務ヲ管理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第四條 農業技師及農業技手ハ所長ノ指揮ヲ承ケ事務ヲ分掌ス

第五條 書記ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第六條 所長事故アルトキハ上席農業技師又ハ農業技手其ノ事務ヲ代理ス

第七條 所長ハ左ノ事項ニ限り適宜處分スルコトヲ得

一、職員ノ事務分擔ニ關スルコト

二、職員ノ管内出張ニ關スルコト

三、豫算定額ニ於テ助手小使及人夫ノ雇入ニ關スルコト

四、其ノ他輕易ナル事項

第八條 所長ハ部下職員ノ進退賞罰ヲ知事ニ具申スルコトヲ得

第九條 所長ハ處務ニ關シ所名又ハ職名ヲ以テ各官公署又ハ關係當業者若ハ其ノ團體ト文書ノ往

復ヲ爲スコトヲ得

第十條 所長ハ毎會計年度後一ヶ月以内ニ前年度ノ業務成績書ヲ知事ニ提出スヘシ

第十一條 職員ヨリ知事ニ差出スヘキ書面ハ總テ所長ヲ經由スヘシ

第十二條 所長ハ知事ノ認可ヲ經テ處務細則ヲ定ムルコトヲ得

○和歌山縣令第二十一號

和歌山縣地方種畜審査會規則左ノ通相定メ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年三月十二日

和歌山縣知事 川村 竹 治

和歌山縣地方種畜審査會規則

第一條 原蠶種ノ製造ニ供用スヘキ種繭ノ審査及原蠶種ノ選定ニ關スル事項ノ審議ハ本則ニ依リ之ヲ行フ

第二條 種繭審査會委員ノ定數ハ二十一名トス

第三條 審査ハ總テ記號又ハ番號ヲ以テス

第四條 審査ハ調査、肉眼鑑定、及器械検査ノ三種ニ分チ左ノ項目ニ依リ之ヲ行フ

一、調査

飼育、蠶兒發育、收繭

二、肉眼鑑定

形狀、色澤、緊緩、糸量、蛹

三、器械検査

糸長、織度、顯微、切斷

第五條 肉眼鑑定ハ出席委員ノ投票ヲ以テ附点スルモノトス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ合

議ヲ以テ附点スルコトヲ妨ケス

調査及器械検査ハ會長ノ指定シタル委員ヲシテ之ヲ爲サシムルモノトス

第六條 審査會場ニハ會長ノ許可ヲ受ケタル者ノ外入場スルコトヲ得ス

第七條 審査ノ爲ニ消費シタル種繭ハ之ヲ補償セス

第八條 種繭審査會委員ハ審査ニ關スル事項ニ付秘密ヲ守ルノ義務ヲ負フ

## ○ 告 示

○和歌山縣告示第四百號

和歌山縣地方種商審査會委員手當及旅費支給規則左ノ通相定ム

大正二年三月十二日

和歌山縣知事 川村竹治

地方種商審査會委員手當及旅費支給規則

- 第一條 地方種商審査會委員ノ手當ハ出務日數ニ應シ一日ニ付金參圓ヲ支給ス但シ國庫又ハ縣費ノ俸給ヲ受クル官吏員及農會技術員ノ職ニ在ル委員ニハ之ヲ支給セス
- 第二條 地方種商審査會委員審査用務ノ爲旅行レタルトキハ左表ニ依リ旅費ヲ支給ス

種商審査會委員	四	錢	五	錢	貳拾五錢	壹圓八拾錢	壹圓貳拾錢
	鐵道賃一哩ニ付	船賃一哩ニ付	車馬賃一里ニ付	宿泊料一夜ニ付	日當一日ニ付		

但シ第一條ノ手當ヲ支給スル場合ハ日當及宿泊料ヲ支給セス

國庫又ハ縣費ノ俸給ヲ受クル官吏員及農會技術員ノ職ニ在ル委員ニ支給スル旅費ハ各其ノ官職相當ノ旅費額ニ依ルモノトス

第三條 旅費支給ノ方法ハ總テ內國旅費規則ヲ準用ス

大正二年三月十一日印  
大正二年三月十一日發行  
大正二年三月九日發行

和歌山縣知事官房

和歌山市北休賣町六番地  
印 關人  
和歌山市北休賣町六番地  
關 宗  
所 七